

公開講演会

# アフリカと日本の協力関係 —両方の潜在力をどう生かすか—

ウスビ・サコ(京都精華大学・学長)

2020年 1月 26日（日） 15:00～17:00

京都大学稲盛財団記念館3階大会議室にて  
(京都市左京区吉田下阿達町46)

コメント：「在日・在中アフリカ人から見たアフリカ—アジア関係」の視点から

和崎春日 中部大学・教授

司 会： 松田素二 京都大学・教授、「アフリカ潜在力」プロジェクト代表

入場無料、事前申込不要、使用言語：日本語

アフリカの人口は、2050年には25億人を超え、世界の約4分の1の人口を占めると予想されている。アフリカには石油や天然ガス、レアメタルなどの豊富な鉱物資源があり、今世紀に入ると高い経済成長率を達成してきた。アフリカは、今日、グローバル経済の最後のフロンティアともいわれている。



Oussouby Sacko

理的に遠いだけでなく、歴史的・心理的にも依然として遠い世界であり続けている。両者がより緊密に交流し支え合い、相互の長所を活かすような関係はどのようにして築くことができるのか。今後、アフリカと日本のあいだに協力関係を構築してゆくためには何が必要なのだろうか。

2019年8月に横浜で開催された「第7回 アフリカ開発会議（TICAD7）」では、アフリカの開発＝発展のために民間の協力と関与を重視する姿勢があらためて強調された。しかし現実には、日本社会にとってアフリカは地

この講演会では、こうした問いに答えるために、アフリカと日本は、お互いにどのような潜在力を持っているのか、それはどのように繋がってゆくことができるのかについて、この問題を深く考え実践してきた京都精華大学のウスビ・サコさんの経験から学びたい。

